

市町村名	恩納村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	万座毛周辺活性化施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備	
担当部課名	建設課	工商観光課	事業実施 年度	平成 24	令和 2	年度 III-1-(1)	
事業内容	沖縄県を訪れる観光客の2割が訪れる万座毛について、本村を代表する観光地であるが、沖縄県全体の入域観光客数は増加しているにも関わらず、当該地を訪れる観光客は減少している状況にある。 そのため休憩所や地域の特産品販売所、展望台等の機能を有した観光拠点施設及び駐車場を整備することで更なる来訪観光客増加を図り、本村の主要産業である観光業の振興や地域の活性化を図ることを目的とする。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	46,692	66,360	627,015	856,494	1,596,561	
	B. 執行済額	42,848	66,360	627,015	856,494	1,592,717	
	うち 交付金充当額	33,553	44,098	496,049	645,775	1,219,475	
	執行率(%) (B/A)	91.8%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	
	執行状況の説明	全国的な技術者の不足等の要因から、技術者を確保するための工期の見直しに不測の日数を要したため、年度内の完了が困難となったため繰越した。 関係者と調整し、資材の一部を変更し繰越工期内の執行に努めた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	駐車場整備工事の実施(面積:16,744㎡)	目 標	実施設計完了	・実施設計完了 ・工事着手	一部完成	工事の実施	供用開始
		実 績	実施設計一部完了	・実施設計完了 ・工事着手	一部完成	工事の実施	供用開始
	観光拠点施設の建築及び外構工事の実施(建築面積:1,963㎡)	目 標	実施設計完了	関係機関との協議	本体工事	工事の実施	供用開始
		実 績	実施設計完了	関係機関との協議	本体工事	工事の実施	供用開始
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	駐車場整備工事の実施(面積:16,744㎡)	目 標	実施設計、関係機関調整	実施設計完了、工事着手	駐車場工事の実施(約90%)	駐車場工事の実施(残り約50%)	工事の完了
		実 績	実施設計、関係機関調整	実施設計完了、工事着手	駐車場工事の実施(約50%)	駐車場工事の実施(残り約50%)	工事の完了
	観光拠点施設の建築及び外構工事の実施(建築面積:1,963㎡)	目 標	本体工事実施設計完了	本体工事完了、関係者調整	本体工事の実施(約10%)	本体工事の実施(残り約90%)	工事の完了
		実 績	本体工事実施設計一部完了	本体工事完了、関係者調整	駐車場工事の実施(約2%)	本体工事の実施(残り約98%)	工事の完了
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成／進捗状況					
		R3年度	R4年度	○年度	○年度	R5年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	■ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果						
	【R3年度】 ・年間利用者数 1,020,000人以上	目 標	1,020,000人	1,020,000人			1,020,000人
		実 績	238,202人	760,193人			
		目 標					
		実 績					
	状況説明	【R3年度】 ・年間施設利用者は238,202人と目標を大きく下回った。					
【R4年度】 ・令和4年度における年間施設利用者は760,193人と目標を下回った。							
【 年度】 ・							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R3年度】 ・施設利用者目標を大きく下回ったことについて、新型コロナウイルスの影響による沖縄観光客の減少、および緊急事態宣言により、4ヶ月間施設を閉鎖したことが要因と考えられる。 【R4年度】 ・施設利用者目標を下回ったものの、コロナによる規制が緩和され徐々に施設利用者が増えつつある。11月以降は7万人を超え、3月は10万人を超えるなど増加傾向となっている。 【 年度】 ・		【R3年度】 ・感染防止対策を徹底した安心安全な施設としてPRを図る。 ・施設内で魅力ある事業を展開する。(R3年度より琉装によるフォトサービスを実施) 【R4年度】 ・外国人の増加により、通貨の両替や会計に時間を要していることから、混雑を予防し利便性向上を図る。 【 年度】 ・					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R3年度】 ・ポストコロナ、アフターコロナに向け、外国人観光客への受入として、英語、中国語、繁体語、簡体語のパンフレット作成及びPR活動の強化を図る。 【R4年度】 ・外国人観光客の増加に伴い、電子決済等の利便性向上を図り、リピーター等を増やす。 【 年度】 ・							

市町村名	恩納村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	学校ICT環境整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－5－(2)－ア 教育機会の拡充	
担当部課名	教育委員会	学校教育課	事業実施 年度	令和 3	～令和 3	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－3－(1)
事業内容	児童生徒の学力向上を目的に、電子黒板や学習用PCの整備のほか、ネットワークセキュリティの強化などのICT環境の整備を行う。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	65,596				65,596	
	B. 執行済額	65,596				65,596	
	うち 交付金充当額	52,476				52,476	
	執行率(％)(B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	予算については、事業計画どおりに適切な執行を行った。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				3年度	○年度	○年度	○年度
	村内の小中学校(6校)における電子黒板、 PC及びネットワークセキュリティの導入	目 標	導入				
		実 績	完了				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				3年度	○年度	○年度	○年度
	村内の小中学校(6校)における電子黒板、 PC及びネットワークセキュリティの導入	目 標	導入				
		実 績	完了				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			4年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	事業完了後の成果目標	・教員にアンケートを実施し、授業でデジタル教科書やICT関連教材を活用し、情報活用能力の育成ができたと答えた割合	目 標	80%以上				
			実 績	88%				
		・児童生徒にアンケートを実施し、タブレット端末等を使用して、情報を活用できるようになったと答えた割合	目 標	80%以上				
実 績			86%					
状況説明	【R4年度】 ・この事業により整備を終えたICT機器等を活用し、設定した成果目標を達成した。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R4年度】 ・R2年度に整備を完了した児童生徒用のGIGAスクール端末に続けて整備したため、GIGAスクール端末、教員用ICT機器の相互活用により、教員の指導環境・児童生徒の学習環境が大いに向上した。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【4年度】 ・学習環境の最適化を推進するため、本事業においてはICT環境の整備を進めた。今後は、本事業において整備したICT機器を活用し、個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現させる必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【5年度】 ・ICT機器を活用した学びの実現には、教職員におけるICT機器の習熟度に依る部分も大きい。ICT支援員の追加配置を検討し、教職員への手厚いサポートを行うことで、児童生徒の学習環境の向上に資する。また、基本的な操作から授業支援ソフト等の活用方法、教材作成等の支援を引き続き行う。 【5年度】 ・ICT機器を活用した授業等の支援を行うにあたり、学校や指導主事と連携し、児童生徒の授業に対する興味や関心、意欲の向上につながるよう指導や助言を行っていく。 【 年度】 ・								

市町村名

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	あしびなー施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	社会教育課	建設課	事業実施 年度	平成 29	～令和 3	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	地域の伝統芸能を保存継承し、それらを活かした体験学習を提供する場を整備することにより、観光誘客を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～R1年度	R1年度(繰越)	R2年度(繰越)	R3年度	合計		
	A. 予算現額	32,521	22,890	102,222	144,122	301,755		
	B. 執行済額	29,979	5,751	37,085	197,682	270,497		
	うち 交付金充当額	23,982	4,600	29,668	158,145	216,395		
	執行率(%) (B/A)	92.2%	25.1%	36.3%	137.2%	89.6%		
執行状況の説明	R1年度は用地交渉の難航により地権者との合意に不測の日数を要したため、年度内の事業完了が困難となったことに伴い、繰越を行った。またR2年度については、施設建築工事に伴い不発弾に係る磁気探査を行ったところ、反応が生じたことによる試掘に不測の日数を要したため、年度内の事業完了が困難となったため繰越を行った。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	基本構想の策定	目 標	基本構想策定					
		実 績	策定完了					
	建築基本設計の実施	目 標		設計書作成				
		実 績		設計完了				
	用地取得	目 標			用地取得			
		実 績				用地取得完了		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	建設工事の実施	目 標			工事实施			
		実 績				工事完了		
		目 標						
		実 績						
		目 標						
		実 績						

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☐ 後年度に発現する事業効果			R4年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	施設の年間利用者1,680人以上		目 標	1680人				
			実 績	663人				
			目 標					
			実 績					
状況説明	【R4年度】 ・施設利用人数は計663人となっており、目標を下回っている。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R4年度】 ・施設利用者が当初想定より低迷していることについて、令和3年の供用開始時から新型コロナウイルスまんえんの影響によるものと思料される。				【R4年度】 ・新型コロナウイルス感染対策を行いながら、おんなの駅等当該施設周辺の事業者などとも連携し、当該施設の利用促進を図る。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R5年度】 ・新型コロナウイルスに係る国や県の対処方針を踏まえ、当該施設近くに所在し県内外から観光客が訪れるおんなの駅といった周辺事業者と連携し、体験学習の場としてPRすることで観光客等の当該施設の利用促進を図る。								